

令和 3 年度
長野県農業再生協議会 通常総会資料

【 協議事項 】

第 1 号議案 長野県農業再生協議会の役員選任（案）について

第 2 号議案 令和 2 年度長野県農業再生協議会事業報告（案）について

第 3 号議案 令和 2 年度長野県農業再生協議会決算報告（案）について

第1号議案

長野県農業再生協議会の役員選任（案）について

規約第9条の規定により、長野県農業再生協議会の役員の変更を行う。
規約第7条第2項の規定により、以下のとおり選任を行う。

長野県農業再生協議会 役員（案）

役員	氏名	備考
会長	小林 安男	長野県農政部長
副会長	武重 正史	長野県農業協同組合中央会 専務理事
副会長	岡村 達雄	全国農業協同組合連合会長野県本部 副本部長
監事	佐藤 卓治	長野県信用農業協同組合連合会 常務理事
監事	中村 光男	長野県農業共済組合 常務理事

【参考】役員を選任等に関する規程について

長野県農業再生協議会規約 (抜粋)

第3章 役員等

(役員の数及び選任)

第7条 県協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 監事 2名
- 2 前項の役員は、第5条第1項に規定する会員の代表者の中から総会において選任する。
- 3 会長、副会長及び監事は、相互に兼ねることはできない。

(役員の仕事)

第8条 会長は県協議会を代表し、その業務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。
- 3 監事は、次の各号に掲げる業務を行う。
 - (1) 県協議会の業務執行及び会計の状況を監査すること。
 - (2) 前号において不整な事実を発見したときは、これを総会に報告すること。
 - (3) 前号の報告をするために必要があるときは、総会を招集すること。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、2年とする。

- 2 補欠又は増員による仕事は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(仕事満了または辞任の場合)

第10条 役員は、仕事満了又は辞任の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行うものとする。

第2号議案

令和2年度 長野県農業再生協議会 事業報告(案)

1 事業概要

国は、農林水産業を成長産業にするため、攻めの農業を展開する基盤づくりと担い手への農地集積・集約化及び農林水産物・食品の高付加価値化を推進するとともに、水田のフル活用や経営所得安定対策を実施している。また、美しく伝統ある農山漁村を次世代に継承するため、良好な景観を形成している農村が、構造改革が進む中でも多面的機能を維持・発揮できるようにする取組を進めている。

本県では、平成30年度からスタートした「第3期長野県食と農業農村振興計画」において、次代の長野県農業・農村を担う者に、農地や技術、郷土食、農村文化、農村景観などを確実に“つなぐ”とともに、農業・農村の魅力を向上させるため、「次代へつなぐ信州農業」、「消費者とつながる信州の食」、「人と人がつながる信州の農村」の3本柱で政策を展開しているところである。

これらの状況を踏まえ、当協議会においては、国や県の施策を積極的に活用して、主食用米の適正生産や水田農業の体質強化をはじめ、中核的経営者の育成や農地の集積・集約化の推進、耕作放棄地の再生活用等による地域農業の構造改革を図るとともに、中山間地の農業・農村振興に向け、関係者が一丸となって取り組んできた。

(1) 総会

期 日	会 場	協 議 事 項 等
令和2年5月 書面開催	—	<ul style="list-style-type: none">・ 役員の選任について・ 令和元年度 事業報告について・ 令和元年度 収支決算報告について
令和3年3月 書面開催	—	<ul style="list-style-type: none">・ 令和2年度 事業実施状況等について・ 令和3年度 事業計画(案)について・ 令和3年度 一般会計及び特別会計収支予算(案)について・ 令和3年度 担い手・農地部会の借入金の最高限度額及び借入先(案)について・ 長野県農業再生協議会事務処理規程、会計処理規程、文書取扱規程、および公印取扱規程の改正(案)について

2 米・戦略作物部会

(1) 主食用米の需要に見合った適正生産及び水田フル活用の推進

① 米・戦略作物部会の開催

期日	会場	協議事項等
令和2年5月 書面開催	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の選任について ・ 令和元年度 事業報告について ・ 令和元年度 収支決算報告について
令和2年 11月5日	J A長野県ビル 12C会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年産米の生産調整の実施状況について ・ 令和3年度の米政策の推進について ・ 主食用米の需要に応じた適正生産及び水田フル活用の推進について ・ 令和3年産主食用米の生産数量目安値の提示について 等
令和3年3月 書面開催	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度 事業実施状況等について ・ 令和3年度 事業計画(案)について ・ 令和3年度 収支予算(案)について ・ 令和3年度 米政策の推進について ・ 令和3年度 産地交付金の助成内容等について

② 制度説明会等の開催

会議等名称	期日	会場	協議事項等
米政策に係る 市町村・J A等 担当者会議	令和2年 9月18日	ZOOMによるオンライン開催 (J A長野県ビル12B会議室、 J A松本ハイランド グリンパ ル会議室 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要に応じた主食用米の適正生産について ・ 水田農業の体質強化の取組について ・ 生産数量目安値の算定ルールについて 等
米政策推進会議	令和2年 11月5日	ZOOMによるオンライン開催 (J A長野県ビル12C会議室 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年産米の生産調整の実施状況について ・ 令和3年度の米政策の推進について ・ 主食用米の需要に応じた適正生産及び水田フル活用の推進について ・ 令和3年産主食用米の生産数量目安値の提示について 等
米の需要に応じた生産に係る農林水産省 令和2年度第3次補 正予算説明会	令和2年 12月25日	ZOOMによるオンライン開催 (J A長野県ビル12D会議室 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業について ・ 水田麦・大豆生産性向上事業について ・ 令和3年産に向けた米の需給調整対策に係る対応について
水田フル活用予算に係る関東農政局プロ ック担当者会議	令和3年 1月20日	ZOOMによるオンライン開催 (J A長野県ビル12D会議室 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水田活用の直接支払交付金について ・ 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業について ・ 水田麦・大豆生産性向上事業について 等

会議等名称	期日	会場	協議事項等
令和3年水田農業経営所得安定対策等推進研修会	令和3年1月29日	ZOOMによるオンライン開催 (JA長野県ビル12B会議室)	・令和3年度の米政策の推進について ・令和3年度水田活用の直接支払交付金等の活用について ・コメ輸出の推進について 等

③ 主食用米の生産数量目安値の設定と目安値に沿った適正生産の推進

ア 令和2年産米の生産数量目安値及び生産調整の実施状況

区分	主食用米の生産数量目安値(t) ①	①を換算した作付目安面積(ha) ②	地域間調整実施後の作付目安面積(ha) ③	作付実施面積(ha) ④	作付オーバー(ha) ⑤=④-③
県計	191,335	30,979	30,910	30,333	▲577

注) ⑤は、③、④の面積の四捨五入の関係で一致しない

イ 令和3年産米の生産数量目安値の提示

区分	主食用米の生産数量目安値(t)	①を換算した作付面積(ha)
県計	186,615	30,188

④ 未達成地域協議会における「行動計画」の策定、実行による作付オーバーの解消

未達成地域協議会に「米の生産数量目標の達成に向けた行動計画」を策定していただき、米の作付オーバーの解消に向け支援を行った。また現地巡回を実施して、取組状況等について意見交換を行った。

期日	会場	意見交換対象
令和2年5月21日	東御市役所	東御市農業再生協議会(東御市、JA信州うえだ、JA佐久浅間)
令和2年5月22日	立科町役場	立科町農業再生協議会(立科町、JA佐久浅間)
	佐久市役所	佐久市農業再生協議会(佐久市、JA佐久浅間)
令和2年12月24日	県上田合同庁舎	東御市農業再生協議会(東御市、JA信州うえだ、JA佐久浅間)
令和2年12月25日	JA佐久浅間本所	佐久市農業再生協議会(佐久市、JA佐久浅間)
		立科町農業再生協議会(立科町、JA佐久浅間)

⑤ 地域間調整により目安値を100%活用した主食用米生産の推進

「受け手」3JA(佐久浅間、信州うえだ、上伊那)

「出し手」6JA(長野八ヶ岳、信州諏訪、みなみ信州、木曾、松本ハイランド、大北)

総数 2,493t

⑥ 県内飼料用米マッチングに向けた意見交換等の実施

水田のフル活用を図るため、飼料用米の需要が大きい畜産農家へニーズ調査を実施し、その結果について地域農業再生協議会と意見交換を行った。

期日	意見交換対象	内容
令和3年2月4日	伊那酪農業協同組合（信州つづじが丘牧場）	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料用米のニーズ（量、価格、受入れ荷姿等）について ・飼料用米取組における課題について
令和3年2月8日	東御市	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那地区における飼料米ニーズについて ・飼料用米に係る所得試算等について
	佐久市	
令和3年2月15日	J Aあづみ	<ul style="list-style-type: none"> ・J Aあづみにおける飼料用米の取組について

⑦ 適正生産に向けた啓発用チラシ等の作成・配布

名称	作成部数	配布時期
経営所得安定対策と米政策	4,905部	3月8日
米政策に係る生産者向け啓発チラシ	184,400部	12月24日
水田地帯への野菜導入チラシ・アンケート	93,000部	1月22日

⑧ 水田フル活用ビジョンの策定・推進

県及び全ての地域農業再生協議会において水田フル活用ビジョンを策定し、地域振興作物の作付拡大による特色ある産地づくりに向けて、産地交付金による作付誘導を推進した。

(2) 経営所得安定対策等の加入状況

※数値は申請時点(R2:R2.10.2 農林水産省公表、R1:R1.9.30 農林水産省公表)

① 交付金別作付申請件数及び面積

区分	水田活用の 直接支払交付金	畑作物の 直接支払交付金	備考
R2年度	9,706 件 6,867ha	1,105 件 8,034ha	水田活用及び畑作物の直接支払交付金の 作物別作付申請面積の内訳は②、③のと おり
R1年度	10,943 件 6,918ha	1,146 件 7,911ha	
対前年比較	▲1,237 件 ▲51ha	▲41 件 123ha	

② 水田活用の直接支払交付金の作物別作付申請面積

(単位:ha)

区分	麦	大豆	飼料 作物	WCS 用稲	米粉用 米	飼料用 米	加工用 米	そば	なたね	新市場 開拓用米
R2年度	2,332	509	513	204	22	227	663	2,283	0	114
R1年度	2,358	522	511	216	23	235	747	2,220	0	68
比較	▲26	▲13	2	▲12	▲1	▲8	▲84	63	0	46

③ 畑作物の直接支払交付金の作物別作付申請面積

(単位:ha)

区分	麦	大豆	そば	なたね
R2年度	2,332	509	513	204
R1年度	2,358	522	511	216
比較	▲26	▲13	2	▲12

④ 収入減少影響緩和交付金の申請状況

(単位:件、ha)

区分	件数	申請面積			
		計	米	麦	大豆
R2年度	1,083	11,972	9,074	1,900	999
R1年度	1,206	12,555	9,484	2,024	1,047
比較	▲123	▲583	▲410	▲124	▲48

(参考) 令和2年産主食用米の需給調整の実施状況

1 令和2年産主食用米の需給調整の実施状況について

(1) 県全体の状況

各地域の農業再生協議会集計では、主食用米の作付目安面積 30,910ha に対する作付実績は 30,333ha (前年比 299ha 減) となり、目安値に対し 577ha の深掘りとなり、生産数量目安値内での生産となった。

主な要因は、現地確認の強化による非作付地の洗い出しやかい廃、令和元年東日本台風による作付け不能等による全水稻作付が減少したことによる。

(単位: ha)

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
作付オーバー面積	436	398	302	702	497	454	425	352	▲615	▲577
前年増減	-	▲38	▲96	400	▲205	▲43	▲29	▲73	▲967	38

注) 作付オーバー面積は、H30までは過剰作付面積

(2) 地域の状況

地域による作付け誘導の他、地域間調整への積極的な協力により、77地域協議会のうち、75地域協議会において目安値内での生産となったが、2地域協議会(佐久市、立科町)では作付オーバーとなった。

ただし、作付オーバー協議会においても、非作付地の洗い出しや加工用米・新規需要米の取組強化、地域間調整等により超過分が昨年より大幅に減少となった。

<令和2年産の地区別の実施状況>

地域 振興局	主食用等米の 生産数量目安値 ① (ト)	地域間調整後 作付目安面積 ② (ha)	作付実施面積 ③ (ha)	作付オーバー ④=③-② (ha)	作付 オーバー率 ④/② (%)
佐久	23,841	3,956	4,019	62	1.5
上田	15,857	2,655	2,545	▲110	▲4.0
諏訪	13,005	1,973	1,924	▲49	▲2.5
上伊那	28,305	4,460	4,431	▲30	▲0.6
南信州	11,247	1,692	1,635	▲57	▲3.4
木曾	1,887	305	290	▲15	▲4.9
松本	43,915	6,782	6,642	▲140	▲2.1
北アルプス	19,656	3,189	3,152	▲37	▲1.1
長野	19,541	3,370	3,235	▲135	▲4.0
北信	14,079	2,529	2,462	▲67	▲2.7
県計	191,335	30,910	30,333	▲577	▲1.8

注) 1 作付オーバー④は、②、③の面積の四捨五入の関係で一致しない

2 県計は、四捨五入の関係で地域振興局の合計と一致しない

2 令和2年産加工用米・新規需要米・備蓄米の実施状況について

主食用米の外数として扱える用途限定米穀（加工用米、新規需要米、備蓄米）については、全体として前年より 66.0ha の減少となった。

主な要因は、取引価格が一定である新市場開拓用米は、46.6ha 増加（前年比 169%）となったが、コロナ禍の影響により、清酒醸造用途（かけ米）を始めとして需要の減少により加工用米が 83.8ha 減少したことである。

(単位 ha)

年産	加工米	米粉用米	飼料用米	WCS	新市場開拓	備蓄米	合計
R2年産①	663.2	21.5	227.8	204.2	114.2	224.0	1,454.9
R1年産②	747.0	22.6	235.1	216.0	67.6	232.7	1,520.9
増減①-②	▲ 83.8	▲ 1.0	▲ 7.3	▲ 11.8	46.6	▲ 8.6	▲ 66.0

注1) 四捨五入の関係で増減値は一致しない

3 担い手・農地部会（担い手育成・農地利用集積対策）

(1) 人・農地プラン実質化支援

- ① 人・農地プランの作成・見直し・実践への支援
 ア 人・農地プランの実質化推進研修会の開催

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
中 止			

イ 地区別検討会の実施<年2回実施(8月・2月)>

期 日	地域振興局	内 容	対 応 者
中 止			

② 優良事例紹介、情報共有・連携強化

ア 「担い手・農地だより」発行（2回：8・2月）

○第34号：8月31日、第35号：2月28日、各6,700部配布

区分	認定農業者	農業経営セミナー	視 点
34号	田頭牧場 田頭 和之 (富士見町)	財務会計の視点からの経営改善 (羽場 権二)	農政をめぐる情勢と話題 (蔦谷 栄一)
35号	株JPumpkin 大塚 悠 (佐久市)	"	"

イ 「農業構造政策推進資料」発行：380部

ウ ホームページを活用した情報発信

エ 「人・農地プラン見直し(作成)・農地中間管理事業の活用実践マニュアル」の改訂

3月
 通年
 随時

(2) 中核的経営体等の確保・育成及び経営力向上支援

① 農業経営相談所の運営

ア 経営戦略会議の開催及び運営(事前打合せ)

期 日	内 容	出席者	経営戦略決定日 (メール会議)	備 考
4月21日(火)	経営戦略検討：5件	3名	4月23日	
5月7日(木)	経営戦略検討：4件	"	5月11日	
5月15日(金)	経営戦略検討：6件	"	5月18日	
6月22日(月)	経営継続補助金検討	4名	-	
7月1日(水)	経営戦略検討：1件	3名	7月2日	
8月4日(火)	経営戦略検討：4件	"	8月4日	
8月26日(水)	経営戦略検討：1件	"	8月26日	
12月2日(水)	経営戦略検討：1件	2名	12月3日	
12月24日(木)	経営戦略検討：2件	3名	12月24日	
2月2日(火)	経営戦略検討：1件	"	2月3日	
3月1日(月)	経営戦略検討：1件	"	3月2日	
3月17日(水)	実績及び計画検討 経営戦略検討：3件	11名	3月19日	ZOOMによるWEB開催
12回	経営戦略決定：29件	/	/	

イ 専門家等を含む支援チームの派遣

実施場所		期 日	派 遣 内 容	派遣専門家
佐久	南牧村 (個人)	4月16日(木)	経営計画の策定指導	羽場 権二 (経営コンサルタント)
		5月29日(金)		
		9月23日(水)		
		10月9日(金)		
		11月27日(金)		
	佐久市 (個人)	12月21日(月)	事前経営診断の実施	美斉津 晃 (中小企業診断士)
	佐久市 (個人)	12月23日(水)	経営課題の改善指導	鳴崎 秀樹 (農業経営者)
	佐久市 (個人)	3月10日(水)	事前経営診断の実施	藤巻 雄司 (中小企業診断士)
南牧村 (個人)	3月10日(水)	事前経営診断の実施	〃	
上田	上田市 (法人)	4月10日(金)	事前経営診断の実施	美斉津 晃 (中小企業診断士)
	上田市 (個人)	12月17日(木)	法人化の支援	清水 重博 (税理士)
	東御市 (個人)	11月4日(水)	事前経営診断の実施	飯森 紀元 (中小企業診断士)
		12月21日(月)	労務管理の指導	福島 公夫 (社会保険労務士)
		3月11日(木)		
	上田市 (個人)	1月19日(火)	事前経営診断の実施	美斉津 晃 (中小企業診断士)
	上田市 (個人)	2月22日(月)	経営計画の策定指導	羽場 権二 (経営コンサルタント)
諏訪	茅野市 (個人)	8月24日(月)	事前経営診断の実施	柳澤 智生 (中小企業診断士)
	茅野市 (個人)	2月18日(木)	法人化の支援	
	茅野市 (個人)	1月26日(火)	事前経営診断の実施	
上伊那	伊那市 (任意組合)	7月30日(木)	経営統合の検討	浦野 正樹 (税理士)
	南箕輪村 (個人)	5月28日(木)	経営継承の検討	飯森 紀元 (中小企業診断士)
	箕輪町 (個人)	6月8日(月)	経営計画の策定支援	〃
		9月8日(火)		
	駒ヶ根市 (個人)	5月27日(水)	経営計画の策定支援	羽場 権二 (経営コンサルタント)
		6月12日(金)		
		6月24日(水)		
		7月31日(金)		
飯島町 (個人)	3月9日(火)	事前経営診断の実施	飯森 紀元 (中小企業診断士)	
伊那市 (法人)	3月18日(木)	事前経営診断の実施	〃	
南信州	飯田市 (個人)	4月16日(木)	事前経営診断の実施	内田 英明 (中小企業診断士)
木曾	木祖村 (個人)	7月31日(金)	事前経営診断の実施	〃
	土滝村 (任意組合)	6月17日(水)	事前経営診断の実施	〃
松本	松本市 (個人)	5月13日(水)	労務管理の指導	山本 亨 (社会保険労務士)
	安曇野市 (法人)	7月28日(火)	経営統合の支援	飯森 紀元 (中小企業診断士)
		2月15日(月)	経営計画の作成支援	
		3月12日(金)		
	松本市 (個人)	12月11日(水)	事前経営診断の実施	飯森 紀元 (中小企業診断士)
		2月2日(火)	経営課題の改善指導	
	塩尻市 (個人)	1月26日(火)	経営課題の改善指導	山本 裕之 (農業経営者)
	朝日村 (個人)	2月9日(火)	事前経営診断の実施	鳴崎 秀樹 (農業経営者)
	安曇野市 (個人)	2月9日(火)	事前経営診断の実施	飯森 紀元 (中小企業診断士)
2月9日(火)		事前経営診断の実施	〃	

実施場所		期日	派遣内容	派遣専門家	
北ア	松川村 (法人)	4月8日(水)	経営継承の検討	藤巻 雄司 (中小企業診断士)	
		3月12日(金)			
	大町市 (個人)	2月26日(金)	事前経営診断	柳澤 智生 (中小企業診断士)	
	白馬村 (法人)	3月5日(金)	事前経営診断	〃	
長野	高山村 (個人)	千曲市 (法人)	8月20日(木)	労務管理の指導	福島 公夫 (社会保険労務士)
		4月28日(火)	税務相談の支援	栗田 敬子 (弁護士)	
		5月27日(水)	労務管理の指導	福島 公夫 (社会保険労務士)	
		1月18日(月)	経営課題の改善指導	鳴崎 秀樹 (農業経営者)	
	長野市 (個人)	2月2日(火)	事前経営診断の実施	藤巻 雄司 (中小企業診断士)	
北信	木島平村 (個人)	4月17日(金)	法人化の検討	〃	
	中野市 (個人)	4月30日(木)	法人化の検討	湯本 敏 (税理士)	
		8月19日(水)	事業計画の作成支援、 HACCP 導入検討	生稲 芳高 (経営コンサルタント)	
	中野市 (個人)	5月7日(木)	事前経営診断の実施	藤巻 雄司 (中小企業診断士)	
		6月1日(月)	法人化の検討	赤城 昌大 (税理士)	
	飯山市 (法人)	7月6日(月)	経営分析の実施	藤巻 雄司 (中小企業診断士)	
		12月11日(金)	経営課題の改善指導		
		1月14日(木)	経営診断の実施		
	飯山市 (個人)	3月5日(金)	経営診断の実施	〃	
		12月25日(金)	事前経営診断の実施		
	飯山市 (個人)	3月8日(月)	労務管理の指導	福島 公夫 (社会保険労務士)	
中野市 (個人)		3月1日(月)	事前経営診断の実施	藤巻 雄司 (中小企業診断士)	
39経営体		62回		16人	

ウ 経営相談会の開催

(7) 農業農村支援センター開催分

地域	期日	内容	出席者	派遣専門家等
南信州	2月1日(月)	農業経営の法人化、個別相談	26人	羽場 権二
松本	2月26日(金)	法人化のメリット、個別相談	26人	飯森 紀元ほか6人
長野	2月3日(水)	農業における雇用対策、個別相談	45人	福島 公夫
北信	2月16日(火)	改正消費税の概要、個別相談	27人	神谷 正紀
	3月9日(火)	事業計画の樹立、個別相談	26人	藤巻 雄司

(イ) 経営継続補助金関係分

《一次募集》

サテライト	期日	派遣専門家数	相談者数
佐久	7月10.14.15.16.17.20日(6日間)	6名	57名
上田	7月13.15.16.17.20日(5日間)	3名	26名
諏訪	7月13.15.16日(3日間)	1名	14名
上伊那	7月13.17.20日(3日間)	1名	14名
南信州	7月10.14.20日(3日間)	1名	18名
木曾			
松本	7月13.15.20日(3日間)	2名	17名
北アルプス	7月14日(1日間)	1名	2名
長野	7月10.13.15.17日(4日間)	3名	26名
北信	7月10.14.16.20日(4日間)	2名	30名
計	7日間(延べ32回)	延べ20名	204名

*本庁対応：37件

《二次募集》

サテライト	期 日	派遣専門家数	相談者数
佐久	11月4. 5. 9. 11. 12. 13. 16. 17日 (8日間)	4名	66名
上田	11月4. 9. 11日 (3日間)	1名	10名
諏訪	11月10. 11. 13日 (3日間)	2名	15名
上伊那	11月11. 13日 (2日間)	1名	10名
南信州	11月10. 11. 12日 (3日間)	2名	22名
木曾			
松本	11月4. 6. 9. 11. 12日 (5日間)	2名	23名
北アルプス			
長野	11月5. 9. 11. 13日 (4日間)	2名	22名
北信	11月4. 6. 9. 12. 13日 (5日間)	2名	47名
計	10日間 (延べ33回)	延べ16名	215名

*本庁対応：25件

エ 信州農業MBA研修の開催 (11月～8回) ← 中 止

オ 農業経営法人化支援事業

1団体

② 地域の実情に沿った経営体の育成支援

ア 集落営農経営発展支援研修会の開催(法人化促進、経営安定対策等)

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
12月14日 (月)	安曇野市 安曇野イヌ村 「サンピッツ」 大ホール	103名	1 研 修 ○集落営農組織の現状と課題について ・長野県農政部農村振興課 2 事例報告 ○集落営農組織における後継者育成について ・農事組合法人 山室 代表理事 大塚 治男 氏 3 講 演 ○演題：集落営農組織の経営継承について ○講師：信州大学 学術研究院 (農学系) 助教 小林 みずき 氏

イ 農業経営管理能力向上セミナーの開催 (財務・税務、労務管理等)

回・期 日	時 間	研 修 内 容 ・ 講 師 等
第1回 令和2年 12月10 (木) (45名参加)	10:00～ 12:00	「農業の法人化」 講師：長野県農政部農業技術課 副主任専門技術員 高橋 達男 氏
	13:00～ 15:00	「農業法人の税務」 講師：税理士法人さくら中央会計 代表社員 税理士 神谷 正紀 氏
第2回 令和3年 1月14 (木) (36名参加)	10:00～ 12:00	「農業経営の労務管理と社会保険制度」 講師：福島社会保険労務士事務所 代表 特定社会保険労務士 福島 邦子 氏
	13:00～ 15:00	「経営計画」 講師：(株)百一姓 代表取締役社長 上級農業経営アドバイザー 羽場 権二 氏

③ 雇用人材の確保支援

農福連携推進研修会の開催 (障がい者雇用の推進)

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
10月27日 (火)	安曇野市 安曇野アイ村 「サンピッツ」 中ホール	92名	1 研 修 ○長野県における農福連携の取組みについて ・長野県農政部農村振興課 2 事例報告 ○施設外就労の事例について ・(株)ウィズファーム 代表取締役 森下 博紀 氏 ・信州バイオファーム(有) 代表取締役 荒井 清 氏 3 講 演 ○演題：農福連携の事例と行政や農業団体の役割について ○講師：農林水産省 農林水産政策研究所 次長 吉田 行郷 氏

④ 女性農業者活動支援事業の実施

農業女子経営力アップ支援事業

事業実施グループ数	事業費	助成額	事業内容
7グループ (つばめ農業女子部、伊那谷のら女子部、下條農業女子まんま - Manma -、南信州 hatake*griris、コノハナラボ、team 晴耕雨食 green、maru×maru、)	666,029 円	652,000 円	販路拡大、マルシェ出店等

(3) 農地の有効活用の推進

① 中核的経営体への農地の集積・集約化支援

農地流動化検討会の開催

期 日	場 所	検 討 内 容
6月18日(木)	JA ビル 13 階打合せ室	・人・農地プランの実質化の進捗状況について ・人・農地プランの実質化に向けた今後の取組について ・農地中間管理事業の実施状況等について
9月16日(水)	"	・人・農地プランの実質化の進捗状況について ・人・農地プランの実質化に向けた今後の取組について ・農地中間管理事業の進捗状況と今後の進め方について
2月16日(火)	JA ビル 4B 会議室	・人・農地プランの実質化の進捗状況と進め方について

② 遊休農地の発生防止及び再生・活用支援

ア 遊休農地解消月間の設定

8月

イ 遊休農地活用推進研修会の開催

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
2月5日 (水)	ZOOM による WEB 開催	80名	1 研 修 ○長野県における農地利用の最適化に向けて ・長野県農政部農村振興課 2 事例報告 ○農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した果樹産地の再生について ・綿内東町地区農地中間管理機構関連農地整備事業実行委員会事務局長 青木 保 氏 3 講 演 ○演題：地域の農地を活かすには ～企業の農業参入の視点から～ ○講師：東京農業大学 国際食料情報学部 教授 渋谷 往男 氏

(4) 収入減少影響緩和交付金(ナラン対策)の農業者積立金の管理

水田経営所得安定対策の収入減少影響緩和交付金の農業者積立金を関東農政局長野県拠点の指示を受けて管理した。

・期首残高(令和2年4月1日)		512,601,928円
・元年産積立金返納額	1,555件	306,105,521円
・2年産積立金納入額	1,054件	319,183,268円
・期末残高(令和3年3月31日)		525,679,675円

(5) 会議等の開催

① 総会

期 日	会 場	協 議 事 項 等
6月19日(金)	書面決議	・令和元年度事業報告、収支決算報告について

② 担い手・農地部会

期 日	会 場	協 議 事 項 等
5月22日(金)	書面決議	・総会提出議案(令和元年度事業報告、収支決算報告)について
3月12日(金)	JAビル12H会議室	・総会提出議案(令和3年度事業計画、収支予算等)

③ 事務局員会議

期 日	会 場	協 議 事 項 等
4月23日(木)	JAビル13階打合せ室	・令和2年度事業計画 ・総会提出議案(令和元年度事業実績、収支決算)
《再掲》 4月18日(木)	JAビル13階打合せ室	・人・農地プランの実質化の進捗状況について ・人・農地プランの実質化に向けた今後の取組について ・令和2年度上半期事業計画について
《再掲》 9月16日(水)	JAビル13階打合せ室	・人・農地プランの実質化の進捗状況について ・人・農地プランの実質化に向けた今後の取組について ・令和2年度下半期事業計画について
《再掲》 2月16日(火)	JAビル4B会議室	・人・農地プランの実質化の進捗状況と進め方について ・総会提出議案(令和3年度事業計画、収支予算等)

④ 監査

期 日	会 場	協 議 事 項 等
5月13日(水)	JAビル13階打合せ室	・内部監査(令和元年度下半期業務及び会計処理状況)
5月21日(木)	JAビル4A会議室	・本監査(令和元年度業務及び会計処理状況)
10月16日(金)	JAビル13階打合せ室	・内部監査(令和2年度上半期業務及び会計処理状況)

4 中山間地農業振興部会

1 市町村の将来ビジョンに関する支援関係

実施項目	実施時期	実施場所等
(1) 令和2年度ビジョンの策定支援	令和2年 3月16日認定	72市町村（中山間地のない小布施町、原村、南箕輪村、山形村、松川村を除く）
(2) 令和3年度ビジョンの策定支援	令和3年 3月26日認定	72市町村（中山間地のない小布施町、原村、南箕輪村、山形村、松川村を除く）

2 地域別農業振興計画に関する支援関係

実施項目	実施時期	実施場所等
(1) 令和2年度計画の策定支援	令和2年 3月16日認定	10地区（全地域振興局、対象77市町村）
(2) 令和3年度計画の策定支援	令和3年 3月26日認定	10地区（全地域振興局、対象77市町村）

3 横断的な課題に対する検討関係

実施項目	実施時期	実施場所等
中山間地における農産物の地域内流通の検討	3月	高齢農業者、零細農業者等の農産物出荷に係る課題・ニーズの把握

4 中山間地農業ルネッサンス推進事業に関する支援関係

実施項目	実施時期	実施内容、事業等
(1) 伊那市推進事業	6～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・市内農業公園における商品開発、販売計画策定 ・入野谷在来種そば復活支援、評価・保存方法開発 ・高遠てんとうなんばん普及支援
(2) 飯島町推進事業	7～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・稲わら細工加工用試験圃場設置、試験栽培
(3) 長野県推進事業	4～3月	<ul style="list-style-type: none"> ○佐久地域 <ul style="list-style-type: none"> ・飼料作物増収のための牧草、トウモロコシ品種展示 ・飼料作物の生育調査と情報発信 ○南信州地域 <ul style="list-style-type: none"> ・県オリジナル夏秋イチゴ（サマーリリカル：長野53号）の適応性評価 ・関係機関による現地巡回指導 ・モデル圃場の設置と成績検討会の開催 ○松本地域 <ul style="list-style-type: none"> ・生坂村公社研修生等のぶどう栽培技術習得支援

第3号議案

令和2年度 長野県農業再生協議会 決算報告

令和2年度 収支決算書(案)

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

収入総額 22,516,289 円
支出総額 22,169,842 円
差引残額 346,447 円(令和3年度へ繰越)

1 収入の部

(単位:円)

科 目	令和2年度 決算額	令和2年度 予算額	増減	備考
補助金	22,017,836	23,095,000	△ 1,077,164	
委託金	405,586	636,000	△ 230,414	
繰越金	92,867	150,000	△ 57,133	
合 計	22,516,289	23,881,000	△ 1,364,711	

2 支出の部

(単位:円)

科 目	令和2年度 決算額	令和2年度 予算額	増減	備考
米・戦略作物部会	3,646,420	4,050,000	△ 403,580	
担い手・農地部会	18,523,422	19,831,000	△ 1,307,578	
合 計	22,169,842	23,881,000	△ 1,711,158	

※ 各部会会計の詳細は別紙のとおり

(米・戦略作物部会 一般会計)

令和2年度 収支決算書(案)

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

収入総額 3,992,867 円
支出総額 3,646,420 円
差引残額 346,447 円(令和3年度へ繰越)

1 収入の部

(単位:円)

科目	令和2年度 決算額	令和2年度 予算額	増減	備考
経営所得安定対策等推進事業	3,900,000	3,900,000	0	
国補助金	3,900,000	3,900,000	0	
繰越金(返還金)	92,867	150,000	△ 57,133	令和2年度経営所得安定対策等推進事業返還金
経営所得安定対策等推進事業	92,867	150,000	△ 57,133	
合計	3,992,867	4,050,000	△ 57,133	

2 支出の部

(単位:円)

科目	令和2年度 決算額	令和2年度 予算額	増減	備考
経営所得安定対策等推進事業	3,553,553	3,900,000	△ 346,447	
県協議会事務費	3,553,553	3,900,000	△ 346,447	
返還金	92,867	150,000	△ 57,133	令和2年度経営所得安定対策等推進事業返還金
経営所得安定対策等推進事業	92,867	150,000	△ 57,133	
合計	3,646,420	4,050,000	△ 403,580	

(担い手・農地部会 一般会計)

令和2年度 一般会計収支決算書(案)

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

収入総額 18,523,422 円

支出総額 18,523,422 円

差引残額 0 円

1 収入の部

科 目			令和2年度 決算額	令和2年度 予算額	増 減	説 明
款	項	目				
1. 補助金			18,117,836	19,195,000	△ 1,077,164	
	1. 地域営農基盤強化総合対策事業		17,461,436	18,395,000	△ 933,564	
		1. 担い手育成対策事業補助金	9,385,000	9,385,000		0 地域営農基盤強化総合対策事業(県費補助金)
		2. 農業経営者総合サポート事業補助金	8,076,436	9,010,000	△ 933,564	地域営農基盤強化総合対策事業(国庫補助金)
	2 NAGANO農業女子ステップアップ支援事業	1. 農業女子経営力アップ支援事業補助金	656,400	800,000	△ 143,600	NAGANO農業女子ステップアップ支援事業(県費補助金)
2. 委託金			405,586	636,000	△ 230,414	
	1. 経営所得安定対策費	1. 積立金管理事務委託費	405,586	636,000	△ 230,414	収入減少影響緩和交付金管理事務費(国庫委託費)
	合 計		18,523,422	19,831,000	△ 1,307,578	

2 支出の部


科 目			令和2年度 決算額	令和2年度 予算額	増 減	説 明
款	項	目				
1. 担い手・農地対策事業費			18,117,836	19,195,000	△ 1,077,164	
	1. 地域営農基盤強化総合対策事業					
		1. 担い手育成支援事業費	9,385,000	9,385,000		0 (1) 研修会の開催 (農副産物推進研修会、集落営農経営発展支援研修会、農業経営管理能力向上セミナー、遊休農地活用推進研修会) (2) 担い手情報発行 ほか (県補助事業)
		2. 農業経営者総合サポート事業費	8,076,436	9,010,000	△ 933,564	(1) 農業経営相談所の設置・運営 (農業経営相談所の設置・運営、農業経営者へのサポート活動、経営相談会等の開催) (2) 農業経営法人化等支援補助金 (250千円；法人化1組織 0250千円) (国補助事業)
	2. NAGANO農業女子ステップアップ支援事業	1. 農業女子経営力アップ支援事業費	656,400	800,000	△ 143,600	(1) 農業女子経営力アップ支援事業補助金 (7グループ；販路拡大・マルシェ出店等) (2) 事務費 (振込手数料) (県補助事業)
2. 経営所得安定対策事業費	1. 資金管理費	1. 資金管理事務費	405,586	636,000	△ 230,414	収入減少影響緩和交付金管理事務費(国委託事業)
	合 計		18,523,422	19,831,000	△ 1,307,578	

監査報告

長野県農業再生協議会規約第31条第1項の規定により、令和元年度事業実施状況及び会計について監査した結果、適正に執行されていたと認める。

令和3年5月17日

長野県農業再生協議会

監事 甲 村 光 男 

監事 佐藤 卓治 